

盛岡市立東松園小学校 6年生のマスク作り《概要》

5月の連休明けに、全校で問題になっている「マスク不足」について、6年生の児童が話し合い、自分たちはどう行動すればよいかを考え、家庭科で学習したことを生かして全校分のマスクを作ろうと決定。6年生児童44人が、約2週間かけて全校児童197人分のマスクを作り、下級生にプレゼントした。



・6年生の感想

「全校の喜ぶ顔が見たい、という言葉が私の心に火をつけました。」

「5年生のみなさんにマスクを渡すとき、「すごい」「ありがとう」と言ってもらい、マスクを作ったかいがあったなあと思いました。」

「1年生のみなさんが、教室に入ったとたんに、よろこんだり驚いたりしてくれてうれしかったです。この活動をやってよかったです。」

・下級生の感想

「6年生がマスクを作ったのがすごい。大事に使おうと思いました。」

「マスクもメッセージもすごくうれしいです。給食の時間にも使っています。」

「とても着け心地がよかったです。かわいいウサギの柄でした。」

「おばあちゃんとおじいちゃんが「すごいね」と言っていました。」

盛岡市立上田中学校 中央病院プロジェクト《概要》

上田中学校生徒会は、中央病院と例年12月のクリスマス訪問で交流している。

困難な状況の中、今こそ恩返しをして中学生が地域を盛り立てていこうと、第3学年生徒会を中心にアイデアを出し、6月に「中央病院プロジェクト」を立ち上げた。

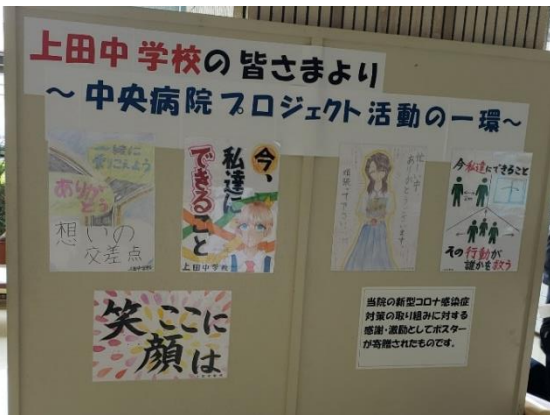
1～3年生まで54人が参加した。

- ・7月9日（木）

【ポスタープロジェクト】生徒作成のA3判ポスター5枚を贈呈。1階ロビーに展示。

- ・7月15日（水）

【横断幕プロジェクト】横断幕「地域医療を支えてくださる中央病院の皆さんは私達のヒーローです」を校舎4階に掲示してお披露目。



- ・7月21日（火）

中央病院にて感謝状授与。生徒代表2名が出席。IBCニュースで放映。

「上田中のみなさん、ありがとう。感謝、感激。」の返信が、中央病院の窓に。

3-4 林由里子さん「中央病院の皆さんは私たちにとってどのような存在かと考えたときに、『ヒーローです』という言葉が仲間から出て、全員がすごくピッタリだと思いました。」
(3学年生徒会副会長)

3-3 佐々木響さん「こういうプロジェクトをみんなで発信して、私たち中学生が発信できることを考えていきたい。」
(3学年生徒会副会長) (IBCニュースより)

- ・7月22日（水）

終業式の校長式辞で、全校生徒へ紹介。

- ・7月26日（日）

岩手日報が記事で紹介。

- ・8月4日（火）

テレビ取材。翌日夕方のmitニュースで放映。

地域の方「子供達の発案みたいだから、言われてやっているものじゃない。病院のほうはそれに応えたというのもいい話だと思ってみている。」 (mitニュースより)